

愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 シンクアクト

②施設・事業所情報

名称：笠寺幼児園	種別：保育所	
代表者氏名：近藤敏矢	定員（利用人数）：	352 名
所在地：名古屋市南区笠寺町大門63		
TEL：052-811-2883		
ホームページ： http://minami.g.dgdg.jp/kasadera/index.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 昭和26年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人みなみ福祉会		
職員数	常勤職員： 53 名	非常勤職員 17 名
専門職員	（専門職の名称）	名
施設・設備の概要	（居室数） 14	（設備等）

③理念・基本方針

- ・心身の健全な育成を図る。
- ・集団生活の規律と楽しさを通じ、物事の良し悪しが判断できる力を身につける。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・育休、短時間勤務制度等、働きやすい環境構築による長期間勤務が継続されている
- ・SNS等の活用による、各種情報の広報が充実している
- ・職員研修等のデータベースが構築されている

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年 6月28日（契約日）～ 平成 29年 11月 1日（評価決定日） 【平成 29年10月 6日（訪問調査日）】
--------	--

受審回数 (前回の受審時期)	0 回 (平成 年度)
-------------------	-------------

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・入園を希望する保護者に対して、webでの情報提供に加え、見学対応やDVDでの紹介も行うなど、精力的な取り組みが行われている。
- ・子どもの保育に関する記録が充実しており、職員間での共有も適切に行われている。
- ・大規模園としての特性を活かし、社会性や集団生活での基本的な習慣が身に付くように保育が実践されている

◇改善を求められる点

- ・経営課題を解決していくプロセスに現場職員が関わる仕組みが無いので、関わる仕組みづくりを期待したい。
- ・中長期計画が策定されていない。事業の進む方向性を経営陣・職員・利用者（保護者）が共有しながら園の運営が行われる事が望ましいので、策定を期待したい。
- ・中長期計画が無いこともあり、人材育成計画が策定されていない。長期的視野に立った人材育成計画の策定を期待したい。
- ・園の運営について自己評価を行い課題を明確にしたうえで改善に取り組む、といった仕組みが無いので、今回の第三者評価受審をきっかけとして、自己評価及び改善の仕組みづくりを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

笠寺幼児園では、多くの保育士・日替わりのパート職員などがいるため、誰が見ても分かり易いように作った作成手順。「それがマニュアルですよ」と言われ、今まで考えていたマニュアルに対する考え方が大きく変わりました。また保育士も経営課題への取り組みが必要ということも知りました。しかし実際問題として、笠寺幼児園では保育士が参加する事は現状難しいこともよくわかりました。今回の結果を受けて今まで何気なくやっていたことを気に留め、明確化するべきだということ学ぶことができました。自分を見直し、園を見直す良い機会になりました。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	a・⑥・c
<コメント> 理念、基本方針、保育目標など法人のホームページに掲載されている。フェイスブック、ブログなどSNSを活用した積極的な発信をしている。今後は保護者への周知への徹底などについてどのような機会を設けるかなどの工夫に期待したい。			

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	a・⑥・c
<コメント> 経営に関する情報は、園長を中心に行政通知や経営協など情報誌から定期的に得ている。また会計・経営の専門家からの情報収集をするなど多角的な情報入手は行なっている。入手した情報の分析については、課題も多く定期的・組織的に行われることに努められたい。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a・b・③
<コメント> 理事、役員はあるべき姿を設定し経営課題を把握しているものの、その課題解決とその推進に向けた取組みについて職員を巻き込むなどの組織的取組みにはなっていない。組織的に取り組みやすい組織の再構築などが望まれる。			

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保4	a・b・③
<コメント> 中長期計画については、現在のところは策定されていない。経営環境の情報収集だけにとどまらず、その分析をすすめ、中・長期のビジョンを確立することに期待したい。			
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保5	a・b・③
<コメント> 中・長期計画が策定されていないため、それを反映した単年度計画も策定されていない。今後、数値目標や成果を設定するなどの中・長期計画をまずは策定されることに期待している。			
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保6	a・b・③
<コメント> 事業計画の策定にあたり、職員が参画したり、意見を集約するなどの取組みは現在のところ進んでいない。職員の参画においては、役割や責任に応じた参画を行なうなど、参加しやすい工夫が求められる。			
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保7	a・⑥・c
<コメント> 事業計画の内容である「居住環境の整備など子どもと保護者の生活」に関わる点については、園便りである「かさでらだより」が発行され、保護者等に周知されている。フェイスブックやブログなどSNSを積極的に活用した発信を行なうなど周知にむけた工夫が見られる。			

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果	
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保8	a・⑥・c
<コメント> 今回の第三者評価の受審をきっかけに、更なる保育の質の向上にむけた取組みを考えている。園長は職務分析やタスク分析などにも取り組んでおり、今後は保育の質向上のためのケーススタディや勉強会なども検討している。今後の課題としては、個人の取組みから組織の取組みに発展していくことに期待したい。			
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保9	a・b・③
<コメント> 職員会などで課題の共有や改善に向けての意見を共有しているものの、その分析や具体的な行動までには至っていない。今回の第三者評価の結果を受け、課題解決にむけて取り組む姿勢が感じられる。			

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果		
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保10	a	ⓑ	c
<p><コメント> 園長は「法人管理業務を行なう」という役割・職責については明確にしているものの、文書化はしていないため、職員への周知も少し弱い印象がある。キャリアパスのような役割を明確に表現するものなどを作成し、相互に理解を深める必要がある。</p>				
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保11	Ⓐ	b	c
<p><コメント> 園長はコンプライアンスに関する研修や専門家からの情報収集、また監査時の指導内容を踏まえ、法令遵守についての意識は高い。その内容についても研修報告書を作成し、職員に回覧するなど周知するようにしている。</p>				
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保12	a	ⓑ	c
<p><コメント> 園長の保育の質の向上の意欲は、高いものを感じる。一方でその高い意欲を組織に浸透させる指導力に苦労が見られる。いま園長が意識しているのは「調整力」とのことで、保育の質の向上のために、園全体の良き調整役としての役割を果たしていくが求められるだろう。</p>				
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	保13	a	ⓑ	c
<p><コメント> 経営改善や業務の効率化などへの意識が高く、実際に業務効率化やペーパーレス化に向けての取組を行なっている。現状は園長が中心に進めている面が強く、今後は職員と一緒に参加できる取組方法の検討などに期待したい。</p>				

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果		
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。				
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	保14	a	b	ⓒ
<p><コメント> 現状では、職員確保や定着のための計画づくりは行なわれていない。法人理念や中長期計画などから、今後必要な人材像や育成計画などを明確化することも必要であろう。</p>				
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保15	a	ⓑ	c
<p><コメント> 職員の育成のための研修会への参加やそのための業務免除など一部の人事管理は行なわれているが、キャリアパス制度や人事考課制度などについては行われていない。採用、育成、定着に向けた総合的な人事管理に期待したい。</p>				
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	保16	a	ⓑ	c
<p><コメント> タイムカードの電子化など就業状況の把握を行い、労働時間の管理を行なっている。有給休暇や産休、育休なども取得しやすい環境であり、短時間勤務などを導入しているなど働きやすい環境形成に取り組んでいる。</p>				
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	a	ⓑ	c
<p><コメント> 現状は職員個人で個人的に目標設定をしている人もいるが、組織として目標管理制度を仕組み化しているなどの取組みはない。保育目標や方針を踏まえた目標設定を各職員が行い、上司面談を通じて進捗を確認するなどの制度化も検討されたい。</p>				
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	a	b	ⓒ
<p><コメント> 研修案内など掲示されているが、成長という視点での育成・教育計画はなく、研修報告書からは、単発的かつ消極的な受講になっている印象を受けた。職員個人がどのような人材に成長し、保育にそれを結びつけるかの目標を持ち、組織はそれを応援するという取組みに大いに期待したい。</p>				
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保19	a	ⓑ	c
<p><コメント> 外部研修の案内など情報提供はされているが、外部主導になっている。階層別、職種別、テーマ別研修など職員の知識、技術水準に応じた研修プログラムの策定が求められる。</p>				

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保20	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 実習生受入については、積極的な姿勢が感じられる。受入に当たっては「保育実習ガイダンス」に則って実習に向けての心構え、進め方について説明している。より効果的な実習にするために、既存の「保育実習ガイダンス」に育成計画、実習プログラムを付加されることを望みたい。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保21	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 保育ビジョン、基本方針についてはホームページで公開され周知される取組みは行なっている。一方で事業報告、予算、決算情報についての記載がホームページにはないので、早期の情報公開に取り組むことが必要。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a ・ b ・ ㉟
<p><コメント> 労務管理、財務に関しては、外部の専門家に助言を得るなど、意見を聞く姿勢が感じられる。内部統制によるチェック体制はまだ整備されていないため、職員が参画することにより経営的視点が涵養されることも期待できる。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 園内行事をポスターで告知したり、老人施設への訪問、またバザー企画など地域の交流は、積極的に取り組んでいる。社会福祉法人として「地域貢献」が義務化されていることもあり、今後地域とどのように関わることなどを文書化し、ホームページなどで公開することも必要であろう。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 保育士志望のボランティア、中学生の職場体験などを受け入れているが、ボランティアに対する受入マニュアルなどが文書化されていないため、作成されることを望みたい。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	㉠ ・ b ・ c
<p><コメント> 職員会議で関係機関（児童相談所、保健所、病院、消防など）との連携などについての話し合い、情報共有を図っている。地域の問題・課題について情報を共有し、連携して解決するような取組みも積極的に取り組んでいる。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	保26	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 地域からの保育相談や障害児保育に関する相談にも対応している。また保護者向けには、「救命救急講習」なども開催し、地域に保育所の機能を還元している。</p>		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a ・ ㉞ ・ c
<p><コメント> 南区保育協会の「子育てひろば」に参加し、未満児を対象に相談事業に取り組んでいる。地域保育のニーズを把握するための取組みに今後期待している。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 主任保育士や先輩保育士から説明及び指導を行っているが、マニュアル等の書類が確認できない。				
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a	b	ⓒ
＜コメント＞ おむつ交換時等配慮が必要な時には配慮をしているが、マニュアルが無く、周知も不十分。室内で着替えをする時はカーテンを閉めるなど、より一層の配慮を期待したい。				
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。				
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	Ⓐ	b	c
＜コメント＞ ホームページやフェイスブックなどで情報提供しており、見学実施では口頭説明の他にDVDでも紹介している。				
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	Ⓐ	b	c
＜コメント＞ 入園説明会と入園式後に説明している。変更の場合は、随時個別で実施。				
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 必要時に情報提供を行っているが、一連の対応に関する書式がない。書式の作成を含めたマニュアルの整備を期待したい。				
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。				
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	a	b	ⓒ
＜コメント＞ 懇談会や保護者会で要望を聞く機会があり、職員間では部屋ノートやメモで共有しているが、アンケート集計などの組織的な取り組みがやや弱いので、取り組みを期待したい。				
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 入園説明会で説明して対応はしているものの窓口の案内や記録がなく、組織的に認識が曖昧な部分がある。職員全員が、苦情を苦情として捉え、対応ができるようになる取り組みを期待したい。				
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 入園説明会と園だよりで周知。職員間で複数の職員へ相談できるように担任以外でも相談できることを伝えている。案内掲示や個別相談の場所の配慮を組織として改善が必要。				
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保36	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 意見や相談は職員間で共有できている。重要性により朝礼で共有し職員会で協議している。しかし、意見箱やアンケート実施、マニュアルもなく、体制に不十分な点がある。				
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。				
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保37	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 事故報告書はあるが、組織的な体制と役割が不明確。リスクの周知とマニュアルがなかったが、今年度から看護師が中心となり手順やマニュアルを作成し始めている点は評価できる。				
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保38	a	ⓑ	c
＜コメント＞ 感染予防として掃除の手順などは各クラスに掲示。発生時は看護師若しくは担任から保護者へ説明し医療機関の情報など連絡している。対応マニュアルや記録様式は看護師が作成中。				

Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	保39	a ・ ㉔ ・ c
<p><コメント> 毎月訓練実施。職員室内に職員連絡網が掲示。各月で火災、地震を想定し防災委員で協議。園内周辺立地から火災想定も行っている。避難経路も複数確保し工夫できている。備蓄食についてはカレーと米を備蓄してあるが、充分とは言えない。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保40	㉔ ・ b ・ c
<p><コメント> 年間指導計画で年齢別の目的やねらい、支援基準が発達段階ごとに明確になっている。</p>		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a ・ ㉔ ・ c
<p><コメント> 年度初めに園長から年度目標と年間指導計画が配布される。検証・見直しなどが組織的に実施されていることの見える化に改善が必要。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	保42	a ・ ㉔ ・ c
<p><コメント> 担任がアセスメントを基に個別計画を作成しているが、主任保育士や園長の役割が不明確。計画作成後のチェック機能が働く仕組みが作られることを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保43	a ・ ㉔ ・ c
<p><コメント> 年度に評価を担当が実施。問題がある場合は、主任会や係りで見直しをして、主任保育士へ報告。保育実施については職員間で共有し指導が行われているが、役割分担をより明確にすることを期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化させている。	保44	㉔ ・ b ・ c
<p><コメント> 個別記録に記載し、部屋ノートで職員間で共有。必要に応じて朝礼で全体共有。個別記録は次年度へ引き継いでいる。</p>		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保45	a ・ b ・ ㉔
<p><コメント> 記録クラスのデスク内に保管だが、鍵がない。教室に鍵をかけるのではセキュリティ面に不安がある。最終的には事務所で記録保管しているが、役割が不明確なのでマニュアルを整備する等して、体制強化に努められる事を期待する。</p>		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標にも基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保46	㉔ ・ b ・ c
<p><コメント> 年間指導計画に年齢ごと発達段階ごとに記載されている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保47	a ・ ㉔ ・ c
<p><コメント> 生活スペースを確保する工夫はできている。保育場面によっては、子供同士の小競り合いになる場面やパブリックスペースが狭く机やイスが危険になるため工夫が必要。</p>		
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保48	㉔ ・ b ・ c
<p><コメント> 教材や制作が優先になる場面が多く、向き合える時間に限りがあり、時間に追われ、環境の限りもあるが、一人ひとりを受容し状態に応じた保育に努めている。個別計画でも確認できる。</p>		
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	保49	㉔ ・ b ・ c

<p><コメント> 年間計画を基に0歳から生活習慣を身に付けられるように保育をおこなっている。3歳以上の児童についてはより社会性が見つけられるようになる事を意識した保育が実践されている。</p>		
A-1-(2)-④	こどもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保50 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 福祉会館への慰問や行事参加、園内行事、製作、教材などが豊富。室内外遊びの時間が少ないが体操教室やプール教室、プレイルームを活用して室内外のバランスをとるように工夫している。</p>		
A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保51 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 一日職員を5名配置し愛着関係が持てるようにしている。不潔と清潔の区別した保育が徹底できている。個別計画を作成し部屋ノートで職員間の共有が徹底できている。</p>		
A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保52 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 一日3名配置して友達とのかかわり方や自我の育ちを支える支援をしている。個別計画を作成し部屋ノートで職員間の共有が徹底できている。</p>		
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保53 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 就学に向けた生活習慣の取得習得を始めている。水泳教室や体操教室、習字や文字の練習など発達段階に応じた教育的な取り組みを実施。個別計画を作成し学年ごとで共有が徹底できている。</p>		
A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保54 a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 研修会に参加して障害特性などを習得し保育士で共有して個別計画に反映している。対応は保育士協働で手製スロープの準備など行っているが、園全体で組織的に取り組まれることを期待したい。</p>		
A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保55 a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 延長保育時間は、多年齢になり、保育内容に少し行き詰まりを感じる。普段、遊ぶことのできない玩具の用意や園庭遊びの時間を増やしたり、工夫はしているが、改善の余地がある。</p>		
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保56 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 年間指導計画で就学に向けた支援をしている。就学予定となる学校と懇談や見学を設けて、学級懇談会で保護者へ説明している。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	保57 a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 保護者に検温表記入をお願いし、子どもの通常体温を把握するなど健康管理に努めている。体調不調等は看護師と連携して対処しているが、園全体としての体制に曖昧さがあり、マニュアルも今年度から看護師が作成中で改善が必要。</p>		
A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	保58 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> 健康診断や歯科検診の結果を保護者へ配布連絡している。医療機関への受診や診断結果を基に個別対応している。</p>		
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保59 (a) ・ b ・ c
<p><コメント> ガイドラインを基に主治医の診断情報を踏まえて個別対応している。クラス内にも確認表でチェックしており厨房と保育士でダブルチェックしている。</p>		
<p>A-1-(4) 食育、食の安全</p>		
A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保60 a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 厨房へ「今日のおすすめ」を聞きに行く習慣があり子供の楽しみとなっている。全部食べられた達成感を味わえるように保育の工夫が見られる。調理方法や献立の幅を増やすことや机と椅子の環境面、食事の様子を見に行くことなど、改善の必要がある。</p>		
A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保61 a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 子供の嗜好やアレルギー等に配慮した提要在できている。大量調理ガイドラインに基づき衛生面や調理にも細心を払っている。しかし大雨時に厨房へ浸水がある点は早急な改善が求められる。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果	
A-2-(1) 家庭と綿密な連携			
A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保62	Ⓐ ・ b ・ c
<p><コメント> 連絡帳や送迎担当者からの連絡や、懇談会などで保護者との連携に努めている。 発達段階ごとの育児や疾病に対して看護師とも連携して、個別記録に残している。</p>			
A-2-(2) 保護者の支援			
A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保63	Ⓐ ・ b ・ c
<p><コメント> 保育士全体で意図的に声をかけて家庭内や育児への相談に繋げており、保育士の気づきを増やすように努めている。相談内容は、部屋ノートや朝礼、職員会で共有している。</p>			
A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保64	a ・ Ⓑ ・ c
<p><コメント> 児童相談所からの調査に協力している。疑いに対しては看護師が中心となり身体写真や経過観察を保育士協働で行っているが、園全体の対処マニュアルがなく、園内勉強会等が不十分である。</p>			
A-3 保育の質の向上		第三者評価結果	
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保65	a ・ b ・ Ⓒ
<p><コメント> 年間目標や若年保育士への評価や振り返りは保育士間で行っているが、園全体で取り組んでいない。</p>			